

このまちの、魅力とくらしを語り合っています

第5期宮前区区民会議 第8回会議

日時 平成28年2月12日(金)18:15~20:00 (開場 18:00)

会場 宮前区役所 4階 大会議室

次第

- 1 開会あいさつ
- 2 議事
 - (1) 誰もがくらしやすいまちをめざす部会の提案に向けて ▶川畑部会長
 - (2) みやまえ魅力探訪部会の提案に向けて ▶青柳部会長
 - (3) 部会審議内容についての意見交換・質疑応答
 - (4) みやまえ区民会議フォーラム2016について ▶事務局
- 3 その他の連絡事項

資料もくじ

- 3 座席表
- 4 第5期宮前区区民会議 委員名簿
- 5 1 誰もがくらしやすいまちをめざす部会の提案に向けて
- 5 暮らし部会2年間の審議経過
- 7 誰もがくらしやすいまちをめざす部会の提案方針
- 9 2 みやまえ魅力探訪部会の提案に向けて
- 9 魅力探訪部会2年間の審議経過
- 11 みやまえ魅力探訪部会の提案方針
- 13 3 今後のみやまえ区民会議の予定
- 4 みやまえ区民会議フォーラム2016について
- 18 平成27年度区民会議交流会の開催結果報告



Information

みやまえ魅力スポット・寄ってこ！ガイドをご活用ください

みやまえ魅力探訪部会の取り組み「寄ってこ！ガイド」が区内6カ所に設置されました！
設置しているバス停は、「初山」「神木不動」「神木本町（鷲ヶ峰営業所方面）」「森林公園前」「東平台」「馬絹神社前」「上野川」の7つ。お近くにお寄りの際は、バス停に貼られたこのステッカーから、ぜひアクセスしてみてください！

二次元コードが読み取れない場合は、検索サイトから、
 で でもご覧になれます。



ほっとやすらぎステーションを試行実施中

馬絹のレストラン「Cafetime マギヌ」さんと、宮前平地域包括支援センターさんの協力により、地域の居場所の取り組み「ほっとやすらぎステーション」を実施しています。

また、稗原ゆ〜ず連絡会の拠点「ユーズカフェ」でも、いろいろなことを相談できます。

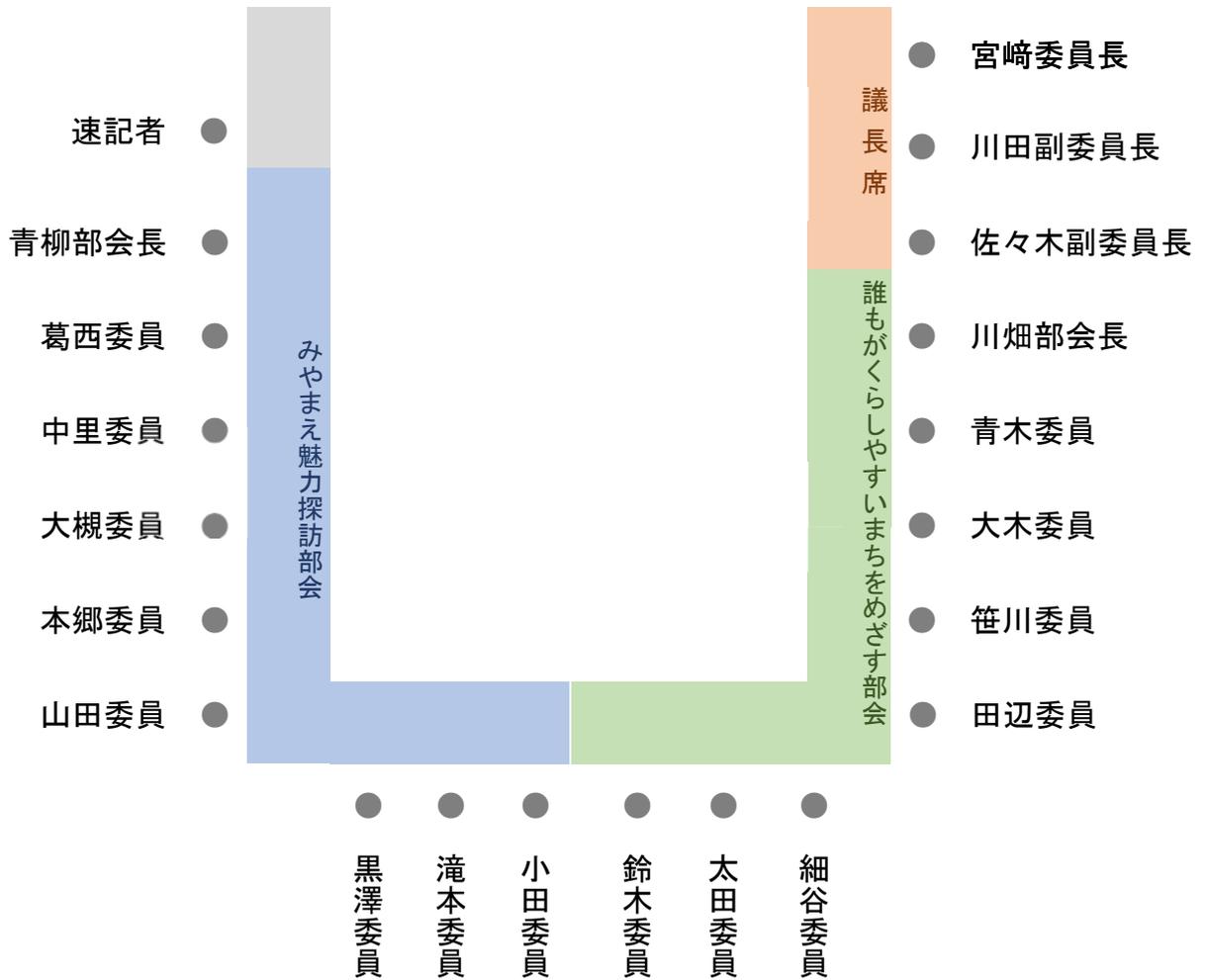
どちらのお店も、普通のカフェとして営業しているので、気軽にお立ち寄りください。

稗原ゆ〜ず連絡会の健康講座を開催中

地域で福祉や医療に携わる方を講師に招き、定期的に健康促進講座を開催中。地域にお住まいの方でなくても、どなたでもご参加いただけます。詳しくは稗原ゆ〜ず連絡会事務局（090-3681-6209）まで。

第8回会議 座席表

スクリーン



事務局		事務局		参 与	
●安河内 企画課 担当係長	●小山 企画課 担当係長	●秋山 企画課長	●野本 宮前区長	●竹花 副区長	●
事務局		事務局		参 与	
●折原 区民サービス部長	●堤 向丘出張所長	●益子 保健福祉 センター所長	●池田 保健福祉 センター副所長	●	●
事務局		事務局		参 与	
●杉山 こども支援室長	●田村 道路公園センター所長	●山田 市民館長	●福嶺 総務課長	●	●

※テーブルの配置等は実際の会場レイアウトと異なる場合があります

第5期宮前区区民会議委員名簿

<らし 誰もがくらしやすいまちをめざす部会
 魅力 みやまえ魅力探訪部会
 企画 企画部会

	氏名		選出区分	推薦団体
副委員長	カワダ カズコ 川田 和子	<らし 企画	団体推薦	宮前区自主防災組織連絡協議会
	アオキ トラジ 青木 寅治	<らし	団体推薦	社会福祉法人宮前区社会福祉協議会
	オオキ ジロウ 大木 次郎	<らし	団体推薦	宮前区スポーツ推進委員会
	カサイ イクコ 葛西 育子	魅力	団体推薦	宮前区子ども・子育てネットワーク会議
	ナカザト フミオ 中里 文雄	魅力	団体推薦	宮前区民生委員・児童委員協議会
	オオツキ ミキオ 大槻 幹雄	魅力	団体推薦	宮前区地域教育会議
	ホンゴウ カズオ 本郷 一雄	魅力	団体推薦	グリーンフォーラム21みやまえ世話人会
委員長	ミヤザキ タカシ 宮崎 孝	企画	団体推薦	宮前区商店街連合会
	ササガワ ススム 笹川 進	<らし	団体推薦	宮前区文化協会
	ヤマダ カツラ 山田 桂	魅力	団体推薦	宮前区全町内会・自治会連合会（宮前地区）
	クロサワ カツミ 黒澤 克實	魅力	団体推薦	宮前区全町内会・自治会連合会（向丘地区）
	タナベ ヨウイチロウ 田辺 洋一郎	<らし	団体推薦	宮前区まちづくり協議会
	ホソヤ アヤコ 細谷 章子	<らし	団体推薦	宮前区まちづくり協議会
	タキモト クミ 滝本 久美	魅力	団体推薦	みやまえ情報ラボ
部会長	カワバタ タケトシ 川畑 武敏	<らし 企画	公募	
部会長	アオヤギ カズミ 青柳 和美	魅力 企画	公募	
	オオタ キミコ 太田 公子	<らし	区長推薦	
副委員長	ササキ リョウジ 佐々木 良司	魅力 企画	区長推薦	
	スズキ ハルオ 鈴木 晴夫	<らし	区長推薦	
	オダ イクコ 小田 育子	魅力	区長推薦	

参 与 *五十音順・敬称略・平成27年5月3日現在

市議会議員	浅野 文直	石川 建二	石田 康博	織田 勝久	添田 勝
	田村 伸一郎	矢沢 孝雄	山田 晴彦	渡辺 あつ子	
県議会議員	飯田 満	佐々木 由美子	持田 文男		

事 務 局

宮前区長 野本 紀子	副区長 竹花 満	総務課長 福嶺 傑
企画課長 秋山 敏之	区民サービス部長 折原 綾子	向丘出張所長 堤 健一郎
保健福祉センター所長 益子 まり	保健福祉センター副所長 池田 稔郎	こども支援室長 杉山 俊成
道路公園センター所長 田村 考司	宮前市民館長 山田 友之	
企画課企画調整担当係長 小山 貴志	企画課まちづくり支援担当係長 安河内 豪太郎	

1 誰もがくらしやすいまちをめざす部会の提案に向けて



くらし部会 2年間の審議経過

くらし部会の提案の方針をお伝えする前に、これまでの2年間のあゆみを振り返ります。くらし部会は9回の専門部会、現地視察や現場での打ち合わせ、外部会議への参加などを積極的に行ってきました。

26.9.25 第1回高齢者問題に関する取り組みの部会

くらし部会の前身となる部会が9名の委員で発足。これから急速に進む高齢化に対応できるまちづくりが必要と考え、議論をスタートしました。

26.10.14 第2回高齢者問題に関する取り組みの部会

26.11.13 第3回高齢者問題に関する取り組みの部会

26.12.3～17 地域の見守り活動・サロン活動の現地視察会

3日間に分けて、「土橋カフェ」「かわさき記念病院」「潮見台カフェ」「三田まちもりカフェ」「すずの家」を訪問。先進的な取り組みを実施している現場で、運営をしている方々にお話を伺いました。



27.3.4 地域包括支援センター連絡会議への出席

高齢者部会の取り組みと、区民会議フォーラムの企画内容について理解と参加をいただくため、川畑部会長が会議に出席しました。

27.3.15 みやまえ区民会議フォーラム2015

区役所大会議室を模擬コミュニティカフェに変身させ、第5期1年間の取り組みの状況を報告し、今後のさらなる審議の発展のため、参加された地域の皆さんから様々なご意見をいただきました。また、ここで部会名を「誰もがくらしやすいまちをめざす部会」としました。



27.4.21 第4回誰もがくらしやすいまちをめざす部会

27.5.26 第5回誰もがくらしやすいまちをめざす部会

この2回の専門部会で、くらし部会が取り組む「地域の居場所」について具体的に話し合い、稗原地区を中心とした居場所づくりと、既存のカフェを活用した拠点づくりの検討を開始しました。

27.6.12 第1回稗原ゆ～ず連絡会

稗原地区7自治会と地域の福祉・医療・教育施設が集まり、誰もが住み慣れたまちで、安心して暮らし続けられる地域を目指す会を結成しました。菅生ヶ丘に新しくオープンするカフェをこの連絡会の拠点として活動していきます。



27.7.6 第6回誰もがくらしやすいまちをめざす部会

27.7.10 第2回稗原ゆ～ず連絡会

27.7.17 地域の居場所候補地の視察（白幡台いこいの家）

居場所づくりのひとつの目安である「中学校区ごと」に設置されている「いこいの家」を拠点にできないかと考え、視察しお話を伺いました。現状では多くの利用者がいて確保が難しいこと、時間外の利用が難しいことなどから、今の段階では見送ることとしました。

27.8.24 地域の居場所候補地の視察（Cafetime マギヌ）

比較的容易に「地域の居場所」をつくるため、すでにあるお店などを活用した場所づくりができないかを考え、馬絹地区でオープンしたカフェを訪問。地域活動に関心のあるオーナーの協力を得て、「ほっとやすらぎステーション」の試行取り組みを行うことにしました。

27.8.31 第7回誰もががくらしやすいまちをめざす部会

「稗原ゆ～ず連絡会」「ほっとやすらぎステーション」の2つを取り組みモデルとして、今後検討を重ねていくことにしました。

27.9.4 第3回稗原ゆ～ず連絡会

カフェの立ち上げのほか、連絡会が主催する各種健康講座を企画。誰でも参加できて、健康になれる催しを、各自治会館や施設で実施することとしました。

27.10.5 ユーズカフェオープニングセレモニー

連絡会の活動拠点となる「ユーズカフェ」のオープンを記念してセレモニーを開催しました。宮崎委員長が出席しました。

27.10.16 第8回誰もががくらしやすいまちをめざす部会

27.11.3 地域包括ケアシンポジウム構築に向けた宮前区民シンポジウム

川田副委員長がパネリストとして参加。会場には、くらし部会を紹介するブースを設置しました。

27.11.16 ほっとやすらぎステーション打ち合わせ会

宮前平地域包括支援センターの職員も参加いただき、ほっとやすらぎステーションの試行実施に向けて、Cafetime マギヌで打ち合わせをしました。



27.11.27 第4回稗原ゆ～ず連絡会

28.1.13 ほっとやすらぎステーション第2回打ち合わせ

28.1.25 第5回稗原ゆ～ず連絡会

連絡会役員だけでなく、地域の一般の方も招き、川崎マリエンで開催。この日は「川崎港魅力体験クルーズ」も同時開催し、宮前区では味わえない、「かわさきの魅力」を体感しました。



28.1.25 第9回誰もががくらしやすいまちをめざす部会

2年間最後となる予定の部会を開催。ここでは、くらし部会が最終的にまとめる提案について話し合いました。その結果、次のページに記載する提案の方向性がまとまりました。

28.2.26 ほっとやすらぎステーションでのイベント開催予定

地域で会社を営み、ボランティアで音楽活動をされる方をお招きしてミニコンサートを開催します。また地域包括支援センターの協力を得て、ミニ相談コーナーも併設する予定です。

誰もがくらしやすいまちをめざす部会の提案方針

ほっとやすらぎステーションを広げよう

地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが本格的にスタートします。

誰もが住み慣れた地域、本人が望むところで、安心して暮らし続けられるまち。

このテーマは、くらし部会の発足当初から一貫して持ち続けていました。

さらに、こうした社会を実現するための方策を、

さまざまな事例の研究や当事者からのヒアリングを通じ、検討しました。

わたしたちは宮前区らしい「地域包括ケアシステム」が、

しっかりと機能し、住みやすい地域になるために、

「ほっとやすらぎステーション」を広めていくことを、提案します。

● 宮前区らしい「地域包括ケアシステム」とは

可能な限り住み慣れたまちで、本人が望むところで住み続けられる社会を目指して、医療機関、介護事業者、行政のほか、地域社会も一体となって取り組むものが、「地域包括ケアシステム」です。

国や他の自治体が進める地域包括ケアシステムは、高齢者が対象の中心ですが、川崎市ではこれに子ども、障がい者、子育て中の世帯など、あらゆる「ケアを必要とするひと」を対象にしていることが特徴です。

宮前区らしい「地域包括ケアシステム」は、地域活動が活発な特性を活かして、地域が主体となり、官民が連携して作り上げていくものとして、私たちは考えています。

● ほっとやすらぎステーションのおもな役割、機能

ほっとやすらぎステーションは、くらし部会が考えた、宮前区らしい「地域包括ケアシステム」のひとつのかたちです。同じ宮前区内でも、地域によって特性が異なりますが、それぞれの地域に合わせた「居場所」をつくり、誰もが気軽に集い、支え合える拠点となれるように考えたシステムです。

ほっとやすらぎステーションの特長

- ① 地域住民の出会い、交流、憩い、活動の場
- ② 福祉・医療などの相談、見守り、
- ③ 地域に広く知られて、誰でも気軽に
- ④ 地域の、地域による、地域のため



具体的な取り組みの提案内容



稗原ゆ〜ず連絡会の運営支援と他地域への展開

稗原ゆ〜ず連絡会は、地域の7つの自治会と福祉施設・教育機関・医療機関等から代表が集まって結成されました。連絡会では、健康講座や各種イベントを開催し、地域の多くの方が楽しく参加しています。小さな地域での活動らしく、通り一遍の講座内容ではなく、参加される方に合わせてその場で作られるプログラムを実践しています。

これまで地域活動に出る機会がなかった方も、健康に少し心配のある方も、いろいろな方が気軽に参加できる企画は、この地域に根付き始めています。

連絡会の活動は、連絡会役員の方はもちろん、講師の方も原則として無償で行っており、また地域のボランティアの方の協力もあって成り立っています。こうした活動が長く続いていくためには、当事者の努力のみでなく、さまざまな支援も必要となります。支援＝お金だけではありません。広報や各種企画などについても、地域と行政が協力して進めていけば、こうした活動はとても活発になると考えています。

いま、各地域で、見守り活動やサロン活動が動き出そうとしています。起動まで、あと一歩のところもあるかもしれません。そうした「あと一歩」を手助けして、支え合いの活動が広がっていく地域社会にしていきたいと思えます。



ほっとやすらぎステーションを広げましょう

馬絹のレストランで試行的に実施している「ほっとやすらぎステーション」の取り組みを、区内各地に展開していきたいと考えています。

「ほっとやすらぎステーション」は、コミュニティカフェの役割も持っていますが、店舗を一からつくるものではありません。既存の店舗などに次の2点について協力をお願いするだけで「地域の居場所」になるのです。

- ① お店のテーブルやカウンターなどに、「カード」のスタンドを設置
- ② 地域包括支援センターと連携し、相談ごとがあれば、センターへつなぐ

今回の試行的取り組みではレストランと連携しましたが、くらし部会では、飲食店だけでなく、例えば「理容・美容院」、「クリーニング店」のようにお店とお客様との会話がある場所、「整骨院」「薬局」のようにお客様のようすがわかる場所なども候補になると考えています。

取り組みの本格実施にあたっては、各地区の地域包括支援センターはもちろんのこと、町内会・自治会や商店会の協力は欠かせません。

また、ただ増やすだけでなく、例えば「認定制度」を設け、この取り組みや福祉の現状などの基礎知識を習得していただくための「講習会」を開催することなどが必要になるかもしれません。

この取り組みにより、「宮前区内ならどこでも、誰でも、困ったときに立ち寄れる場所がある」という環境を作り上げられることが、わたしたちの理想です。

2 みやまえ魅力探訪部会の提案に向けて



魅力探訪部会 2年間の審議経過

魅力探訪部会の提案の方針をお伝えする前に、これまでの2年間のあゆみを振り返ります。魅力探訪部会は9回の専門部会のほか、バスツアーや拡大部会、試行的取り組み実現に向けた現地視察や体験ツアーを開催しました。

● 26.9.26 第1回魅力発信と次世代まちづくりの部会

魅力探訪部会の前身となる部会が10名の委員で発足。まちの魅力発信を主なテーマに、ワールドカフェ形式のワークショップを行い、部会が審議するテーマを検討しました。

● 26.10.21 第2回魅力発信と次世代まちづくりの部会

ワークショップでの意見をもとに検討し、これから議論する「魅力」について、実際にまちに出向き体験しよう、と考え、路線バスを活用した魅力探しのツアーを行うことを決めました。

● 26.11.20 みやまえ路線バス途中下車の旅（コース①）

委員自らまちを巡り、その魅力を再発見するツアー。路線バスを乗り継ぎながら、区内あちこちを訪ね歩きました。1日目は「みやまえ歴史探訪・タイムスリップ体験」。戦時中の遺跡、古墳や古代の役所跡などを巡りました。

● 26.11.21 みやまえ路線バス途中下車の旅（コース②）

2日目のバスツアーは「みやまえを流れる川を辿って」。矢上川、平瀬川を経由して、北部市場で昼食。水沢の森に向かい、自然を満喫した一日でした。

● 26.11.26 みやまえ路線バス途中下車の旅（コース③）

3日目は「旅はやっぱり、グルメめぐり」。宮前区の名物をつくるスイーツショップやレストランを訪ね、工場見学などをさせていただきました。当初予定になかったお店も偶然発見。楽しさいっぱいのツアーでした。

● 26.12.22 第3回魅力発信と次世代まちづくりの部会

3日間のバスツアーを振り返り、魅力発信、魅力発見に大きな可能性を見出しました。また、ツアーを通じて、区内だけでなく、区外からも観光に訪れてもらえるような取り組みが必要であることを実感しました。

● 27.3.15 みやまえ区民会議フォーラム2015

11月のバスツアーを参考に、フォーラム用の特別コースを2つ用意。一般の参加者のみなさんとともに、魅力発見ツアーを行いました。目的地ではその地域で活動する方がガイドを務めていただきました。途中は宮前区産農産物をたくさんつかったお弁当を楽しみ、メイン会場ではツアーを振り返りました。



● 27.5.8 第4回みやまえ魅力探訪部会

この部会で、「バス停に地域の魅力スポットへの案内表示をつけたらどうか」「子どもの教育、特に自由研究に役立つられるものは作れないか」「観光情報投稿サイト“Holiday”のワークショップをしてはどうか」という意見がで

ました。それぞれが、のちの「寄ってこ！ガイド」「みやまえハテナノタネ」「拡大部会の開催」に繋がっていきます。

27.6.12 第5回みやまえ魅力探訪部会

27.7.8 第6回みやまえ魅力探訪部会

2回の専門部会で、8月に実施する「みやまえ魅力探訪拡大部会」の開催内容を検討しました。

27.8.8 みやまえ魅力探訪拡大部会

魅力探訪部会が考える、「区内外に地域の魅力を知ってもらうための取り組み」を、地域の方々を招いて検討するイベントを開催。まずは「観光情報投稿サイト“Holiday”体験会」を実施、その後はテーマを2つに分けて区民会議委員と地域の方々、専門家の方を交えて話し合いました。



27.9.1 第7回みやまえ魅力探訪部会

拡大部会でいただいたさまざまな意見をもとに、これから試行的に取り組む内容を検討しました。「バス停への観光案内掲示」(Aグループ)と「自由研究に使える地域資源リーフレット」(Bグループ)の2つに分かれ、試行的取り組み実現に向けた作業をスタートさせました。

27.9.30～10.2 バス停と魅力スポット視察会

Aグループの検討内容を実現するため、候補地となるバス停と周辺の魅力スポットを委員が実際に歩いて視察しました。この頃にはスマートフォンの活用が決まっていたので、それに使えるような写真撮影も兼ねて行いました。



27.10.7 第8回みやまえ魅力探訪部会

2つの試行的取り組みの進捗状況を報告し、Bグループの取り組みの名前を「みやまえハテナノタネ」としました。

27.11.17 みやまえハテナノタネ検討会

Bグループによる取り組みの検討を行いました。リーフレットの形式・内容と、記載する魅力スポットの詳細について地域の協力をいただくことを決めました。

27.11.30 寄ってこ！ガイド公開&公開記念特別企画開催

報道各社を招き、寄ってこ！ガイドのお披露目を開催。その後は地域の方にもご参加いただき、寄ってこ！ガイドを実際に使ったウォーキングイベントを行いました。教育委員会の協力により、現地ガイド付きの橘樹官衙スタンプラリー特別版も同時開催しました。



28.2.2 寄ってこ！ガイド追加分公開

公開当時の2カ所から6カ所に増やすために、各バス停でガイドの貼り付け作業を実施。委員も参加しました。

28.2.3 第9回みやまえ魅力探訪部会

2年間最後の部会は、エポックなかはらで開催。みやまえハテナノタネ試作版の内容を部会全員で検討しました。また、区民会議フォーラムの企画内容も検討。さらに、魅力探訪部会が最終的にまとめる提案について話し合いました。その結果、次のページに記載する提案の方向性がまとまりました。

みやまえ魅力探訪部会の提案方針

まちのあらゆる情報集約・発信拠点、 “みやまえ魅力探訪ネットワーク”の構築

地域で積極的に活動をしているひと。

自分のまちが大好きで、素晴らしさをもっと知ってもらいたいと思うひと。

こどもたちに、まちの歴史にふれあってほしいと思うひとと、そのこどもたち。

ちょっと通りがかりに、面白いものを探しているひと。

さまざまな地域情報のみなもとは、すべて「ひと」です。

その「ひと」たちが手をとりあい、

より広く、わかりやすく、伝わりやすい情報を発信する。

これが、わたしたちが考える「みやまえ魅力探訪ネットワーク」です。

● みやまえ魅力探訪ネットワークについて

インターネットや携帯端末の普及により、いつでもどこでも、瞬時に世界中の情報を手に入れられる社会です。一方で、情報はあふれかえり、本当に欲しい情報をいかにして手に入れるかが課題となります。

「みやまえ魅力探訪ネットワーク」は、地域でさまざまな情報を持っている「ひと」と、いろいろな取り組みを進める地域活動団体の「ひと」が手を結び、SNS、行政刊行物、各種メディアをはじめ、あらゆる情報発信手段を集約し、発信するしくみのことです。

しかし、新規に組織を起ち上げるわけではありません。組織づくりを目標にしてしまうと、その役割もあいまいになり、継続も困難になりがちです。

「みやまえ魅力探訪ネットワーク」ではまず、わたしたち魅力探訪部会委員がメインとなって、今回発案した2つの試行的取り組みの応用・発展を担い、それを実現させていくことから始めます。そうした活動を積み重ねていくことで、将来、わたしたちが理想とするはたらきをもつ組織となればと考えています。当初の活動にあたっては、第3期区民会議提案で結成した「みやまえ情報ラボ」と協力しながら進めていくことも考えられます。

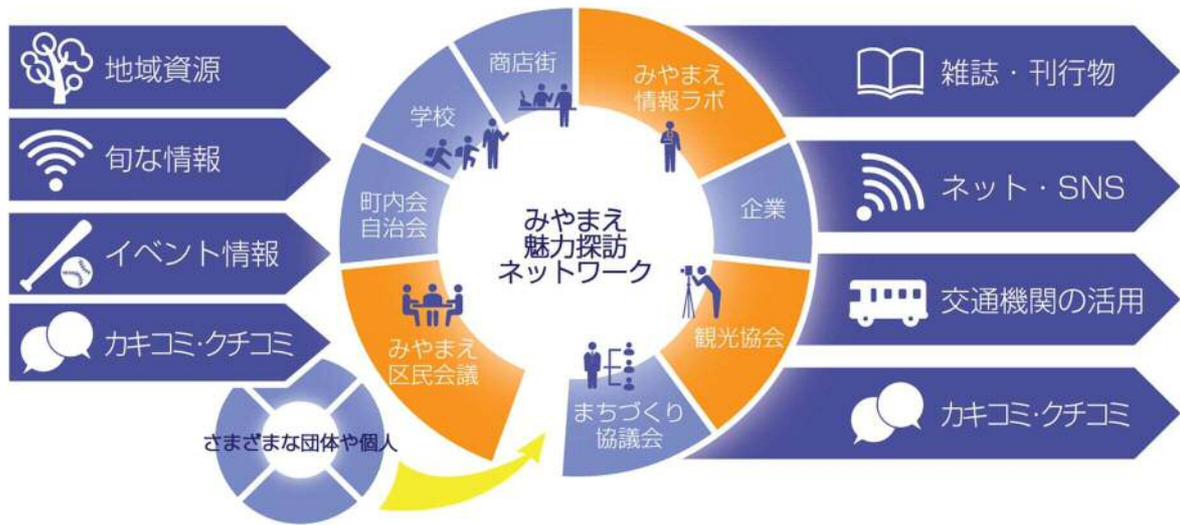
さまざまな「ひと」のノウハウとネットワークを活用して、地域の魅力を、もっともっと、たくさんの「ひと」に伝えていきたいと、私たちは思います。



具体的な取り組みの提案内容



みやまえ魅力探訪ネットワークと、その活動内容



みやまえ魅力探訪ネットワーク概念図

さまざまな地域の情報を集約して、ネットワークで共有し、効果的な発信方法でひろく伝えていくイメージを表しています。このネットワークは、区民会議、みやまえ情報ラボが中心となりますが、観光協会をはじめとした各機関が連携する姿が理想です。



- みやまえ魅力スポット・寄ってこ!ガイドは、これまで6カ所につくりましたが、宮前区にはまだまだたくさんの魅力スポットがあります。理想は、すべてのバス停にガイドがあることです。この取り組みの今後の展開としては、
- ①宮前区内に限らず、市全体に広げていく
 - ②民間バス事業者のバス停にも展開
 - ③アプリを開発し、さらに機能を充実（動画案内、ナビ機能など）
 - ④環境問題、健康管理などの要素を盛り込んでいく
- といったことが考えられます。



●みやまえハテナノタネ・自由研究のMe! は、第1弾として「みやまえ6つの謎編」を作りましたが、今後も楽しいシリーズの発行が考えられます。ハテナノタネの最大の特長は、地域の人と触れ合うことができることです。活動をする多くの方を発掘して、地域の資源を研究していけば、もっとよいものに違いありません。

今後のみやまえ区民会議の予定

●案内標識や表示板も、場所によって設置を検討していきます。観光スポットに訪れたときは、写真を撮ります。そのとき、それがどこなのかがひと目でわかる標識があれば、よい思い出になります。設置方法や維持管理、統一感があり見やすいデザインの検討などから、進めていく必要があると、考えています。



全体の会議は、きょうが最後になりますが、みやまえ区民会議の活動は、まだまだ続きます。現在予定されている主なスケジュールをご紹介します。

2.26 ほっとやすらぎひろば開催

くらし部会の取り組み「ほっとやすらぎステーション」で、イベントを開催します。会場は今回のモデル店舗となっている「Cafetimeマギヌ」さん。ゲストには、全国各地で演奏会をボランティアで開催している平山秀樹さん。本物の歌声を、じっくりとお楽しみいただけます。

また、宮前平地域包括支援センターの協力により、会場には日常生活で困ったことの相談コーナーを設置。介護や健康、財産管理など、ちょっと聞いてほしいことがある、少し困っていることがある方に、やさしく、わかりやすく、ご案内します。

▶詳しくは、次ページのポスター案をご覧ください。

3月上旬 宮前区長への提案書提出

今回、各専門部会から発表した「提案方針」に沿って、提案書を作成します。そして、それを宮前区長に提出します。

写真は第4期の提案提出のようすです。第4期宮前区区民会議委員長の直本享子さんから、石澤桂司宮前区長に、提案書が渡されました。その後、企画部会委員と宮前区長との懇談会を開催しました。



3.13 みやまえ区民会議フォーラム2016

2年間の活動の集大成、みやまえ区民会議フォーラム2016を開催します。宮前区役所4階をメイン会場にして、わたしたちの活動を報告し、皆さんに取り組みを体験していただく会です。詳しくは、15ページの企画内容をご覧ください。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

ほっとやすらぎステーションのイベント企画案



ほっとやすらぎステーション 午後のやすらぎコンサート

申込不要

あなたがずっと、このまちでくらすように。

入場無料

ほっと、きもちがやすらぐ、そんな空間をつくりました。

入退場自由

美しい音楽とともに、カフェタイムをお過ごしください。

2.26(Fri.) 15:00~15:30

※レストラン内での開催ですが、開催時間は準備中のため、お食事のご注文はいただけません。



Special Guest

平山 秀樹 Hideki Hirayama

鹿児島県桜島町出身。音楽大学を卒業後、プロの音楽家として活躍。その後、数回の転職を経て、現在は株式会社ワーコレ代表取締役。宮前区馬絹に本社を構え、全国のデパート等で、世界中のデザイナーによるファッションアクセサリーを販売。秋田県小坂町観光大使。

会場では、14:00~16:00に宮前平地域包括支援センターの協力により、日ごろの生活についての相談コーナーを開設します。健康のこと、介護のこと、家族のこと、お金のこと。ちょっと聞いてほしいことがあれば、気軽にご相談ください。公的機関の職員が、無料でお受けいたします。

主催●第5期宮前区区民会議・誰もがくらしやすいまちをめざす部会
協力●Cafetimeマギヌ・宮前平地域包括支援センター

Cafetimeマギヌ 044-855-2122

営業時間●11:30~14:00、17:00~20:00/定休日●日曜祝日

交通●市バス [城11] 系統新城駅前行き「矢尻」バス停下車1分



4 みやまえ区民会議フォーラム2016の開催について

みやまえ区民会議フォーラム2016

ほっとやすらぎステーションを拡げよう、
まちの魅力を訪ねて、謎を解こう。

3月13日(日) 宮前区役所大会議室 (メイン会場)

- 11:00 - 14:45 まちの魅力を訪ねて、謎を解こう
- 13:00 - 14:45 ほっとやすらぎステーションを拡げよう (12:30開場)
- 14:45 - 15:00 稗原ゆ〜ず連絡会メンバーによるミニ・コンサート
- 15:00 - 16:00 第5期の活動を報告します

プログラム① まちの魅力を訪ねて、謎を解こう

魅力探訪部会の試行的取り組み「みやまえ魅力スポット寄ってこ！ガイド」と「みやまえハテナノタネ・自由研究のMe!」を体験していただきながら、宮前区の代表的な地域資源「橘樹官衙遺跡群」を訪ね、謎解きをします。

おもな進行スケジュール

- 10:50 魅力探訪部会委員集合 (能満寺バス停付近)
- 11:00 参加者集合、寄ってこガイドの体験開始
- 11:20 橘樹官衙遺跡群 (影向寺) に到着、魅力の紹介
※現地ガイドは、教育委員会学芸員を予定。影向寺や郡衙跡の発掘現場を見学
※参加者は適宜、昼食や休憩します
- 12:00 ハテナノタネを参加者に配布、謎解きスタート!
- 13:30 大会議室サブ会場 (第1会議室等) へ移動
- 14:00 サブ会場で謎解き答えあわせ (宮前区観光ガイドの会?)、特別映像の上映
- 14:45 休憩&ミニ・コンサート中、メイン会場へ

参加呼びかけ

小学生と保護者 (高学年を想定。学校、子ども会、ロコミなど)
宮前区観光ガイドの会の方々
教育委員会学芸員

これからの準備事項

- ① 委員の役割分担 (現地ガイド、引率、移動担当など)
- ② 委員から、参加していただきたい方への声掛け
- ③ 現地会場の調整
- ④ 寄ってこ！ガイド特別編の作成

プログラム② ほっとやすらぎステーションを拡げよう

くらし部会が考える「地域の居場所」の一つの提案、「ほっとやすらぎステーション」を、メイン会場で体験していただく企画です。Cafetimeマギヌさんで試行的に取り組んでいることを模擬的に実施します。カフェの運営は、稗原ゆ〜ず連絡会の皆さん。地域の居場所づくりの活動をされている方などをお招きして、くらし部会の取り組みについて、ご意見をいただきます。

おもな進行スケジュール

- 11:30 くらし部会委員集合（メイン会場）、会場設営
- 12:30 開場
- 12:45 ミニ・コンサート第1部（稗原ゆ〜ず連絡会メンバー）
- 13:00 ほっとやすらぎステーション・オープン〜くらし部会の取り組み紹介
- 13:15 テーブルトーク
- 14:15 テーブルトーク終了、各テーブルの意見発表会
- 14:45 休憩&ミニ・コンサート第2部

参加呼びかけ

地域の居場所（コミュニティカフェ等）を運営する方々
地域包括支援センターの職員の方々
稗原ゆ〜ず連絡会の皆さん
Cafetimeマギヌのオーナーやご関係者
町内会自治会、商店街の方々

これからの準備事項

- ① 委員の役割分担（テーブルトーク、受付、カフェ担当など）
- ② 委員から、参加していただきたい方への声掛け
- ③ テーブルトーク内容、発表形式等の検討

プログラム③ 第5期の活動を報告します

第5期2年間の取り組みを参加者の皆さんにご報告します。委員が全員で行う、最後の企画です。

おもな進行スケジュール

- 14:45 ミニ・コンサート第2部（稗原ゆ〜ず連絡会メンバー）
- 15:00 全体会開催宣言
- 15:05 みやまえ区民会議の紹介
- 15:10 試行的取り組みの紹介と、きょうの特別企画実施の報告
- 15:40 意見交換、質疑応答
- 15:55 閉会のあいさつ

参加呼びかけ

各専門部会の企画で呼びかける方に、そのまま全体会にご参加をお願いします。

これからの準備事項

- ① 各委員の役割分担（司会進行、委員紹介者、提案紹介、企画実施報告、テーブル担当、受付、他）
 - ② フォーラム案内チラシ作成、配布
 - ③ 参加者募集（締め切りは3月初旬予定）
 - ④ 掲示物等の準備、備品準備、キッズコーナー
 - ⑤ 配布資料の作成、パワーポイントの作成
- みやまえ区民会議フォーラム案内パンフレットのデザイン案

5 平成27年度区民会議交流会の開催結果報告

川崎市各区の区民会議委員の交流や、各区の取り組み状況や運営方法などについて意見交換をおこなう機会として、区民会議交流会が毎年開催されています。ことしも次の通りに開催され、宮前区区民会議からも多くの委員が参加しました。

●開催概要

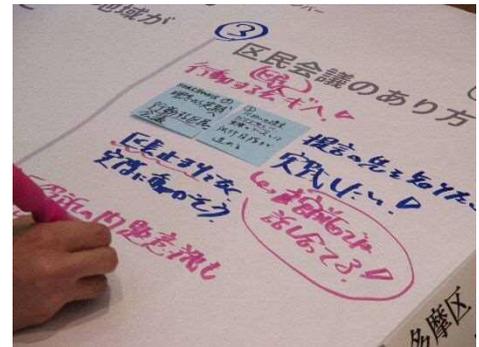
平成28年2月3日（水）18:00～20:30
エポックなかはら7階大会議室「武蔵」

●出席者

各区区民会議委員72人、川崎市長、行政関係者
みやまえ区民会議からは、15名の委員が参加しました。

●主なプログラム

区役所改革の基本方針についての説明（川崎市）
7区区民会議委員によるワークショップ
グループごとの発表会
懇親会





第5期宮前区区民会議